

第5学年5組 総合的な学習の時間 三国の農業を盛り上げようプロジェクト

学習活動・予想される児童の反応	本時見られた深く学び続ける子どもの姿
1 前時までにグループごとに話し合った PR 方法を振り返り、めあてをつくる。  私たちは POP で表すことにしたけれど、農家の方のこだわりや思いがきちんと伝わる POP になっているかな。何か足りない所はあるかな GTの方にみてもらい、伝える内容になっているか伝えてみようよ。アドバイスをもらえたら、改善点が何か見つかるかも。  めあて 米 PR プランを見直そう	○ 前時までにグループごとで困っていることや米 PR プランづくりで課題となっていることを明らかにできていたので、本時のめあてを各グループごとで立てる姿が見られた。 ○ 各グループの課題を、GTの方から直接聞いたり、自分たちのこれまでの学習経験をもとにしたことで、課題を解決するための改善点を見つけ、より地域の人に伝わるPRプランにするためにどうすればよいか気付く姿があった。 ・自分たちは、チラシをレジのカゴに入れることで、農業への興味や、農業をしたい人を増やしたいと考えているが、農家の方の思いが伝わるPRのチラシになっているか、分からない。 だから、消費者の人や、農家の人に直接見せて、アドバイスをもらいたい。
2 自分たちのグループの作ってきた米 PR プランをよりよいものにするために話し合う。 (1) 自分たちのグループの進捗状況を確認し、本時の計画を立てる。 ①自分たちの班が何をするか。 ②どんな方法ですか。 ③どれくらいの時間配分を確認する。	○ 各グループでPRプランの困っていることや、改善点についてGTからの話を直接聞くことができる場を設定したことで、「より地域の方に伝わるPRプランにするためにこうすればよいことが分かった」「自分たちの今のPRプランのままでよいと分かった」と実感する姿が見られた。 ・自分たちのPRプラン（動画）では、音声が入りにくかったので、動画に字幕を入れるとたくさんの人に伝わる動画になることに気付いた。次の時間では、動画に字幕を入れて分かりやすい動画にしたい。 ・地域の人に伝わる歌になっていると農家の方に言ってもらったので、これでサミットにむけて準備していこうと思います。 ・お店の大きさに対してチラシが大きすぎたことが分かった。なので、サイズを小さくしてチラシを印刷してもらおうと思います。
(2) GTからのアドバイスや考えを取り入れながら、よりよい「米 PR プラン」を考える。 「米 PR プラン」を話し合う グループ内での交流やGTからのアドバイスをうけて お店の POP 農家の方の こだわりや 思いが伝わ る POP に しよう。農 ふれあい館三 国に掲示する ポスター 商品のよさ (味・健康 面・栄養成 分)を伝える 内容を取り 入れた新聞 袋に入れ る カード 買った人が 家に帰って 見ると嬉し くなる、 「おすすめ 動画作 成 出荷先や 販売先が より伝わ るよう に、アニ より地域の方に伝わる、米 PR プランへ	
3 各グループごとに、本時での学び方について振り返り、次時の学習への見通しをもつ。 ・POPに表した「こだわり・思い」は、GTの方の「顔写真がある方がより伝わる」と言われたので、次は写真を入れ替うと思う。よりこだわりが伝わるPOPになると思う。 ・新聞に「商品のよさ」を栄養のことを入れようと思う。ふれあい館三国には高齢の方も多く来られるので、栄養のことを入れればより関心をもって読んでもらえそうと考えたからです。	

- 前時までにグループごとのPRプラン作成の中で、聞いてみたいことや、困っていることを明確にすることができていたので、本時を通して課題解決の方法を考えながら取り組む子どもたちの姿があった。
- モニタリングの時間を途中挟むことができたことで、自分たちのたてた学習計画の修正点について把握しながら見直す子どもの姿が見られた。